

患者さんのコミュニティ広場

ゆい（結）

第55号

発行月：令和2年10月

発行：新潟県立中央病院

患者サービス向上委員会 広報班

当院ホームページもご覧ください

<http://www.cent-hosp.pref.niigata.jp>

もくじ

1 … 各種お知らせ

2 … 糖尿病教室のご案内

3 … 腎臓病教室のご案内

4 … 薬剤部のご紹介



病院理念

- 病院を利用される方一人一人の権利を尊重します。
- 救急医療と高度先進医療を提供します。
- 思いやりのある安全な医療・看護を推進します。
- 地域の医療施設・介護施設や自治体と連携し、地域住民の保健・医療・福祉の増進を図ります。
- 研究・研鑽につとめ、次世代の人材を育成します。

来院時の注意

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、患者さん及び付き添いの方へ以下のことをお願いしています。

●来院する際は手指消毒とマスクの着用をお願いします。

●来院前に自宅で体温測定し、以下の症状がある場合は各診療科受付に電話連絡をお願いします。

(37.5℃以上の発熱・咳・のどの痛み・強いだるさなど)

●検温を実施しておりますので、来院時は正面入口からお入りください。

●流行地域への外出は控えるようお願いします。

※詳細はホームページをご確認ください



当面の間、特別な事情を除き全病棟の面会を禁止しています。ご協力よろしくお願いします。



駐車場のご利用について

●長時間の駐車はしない

●駐車スペースを守る

※身障者用駐車スペースはお身体が不自由な方のためのスペースですのでご理解をお願いします。

●誘導員がいる場合にはその指示に従う

※冬季は積雪のため駐車スペースが狭くなります。常に除雪はおこなっておりますが、作業が間に合わないこともございます。他の利用者のためにも、ご協力をお願いします。

院内教室のご紹介



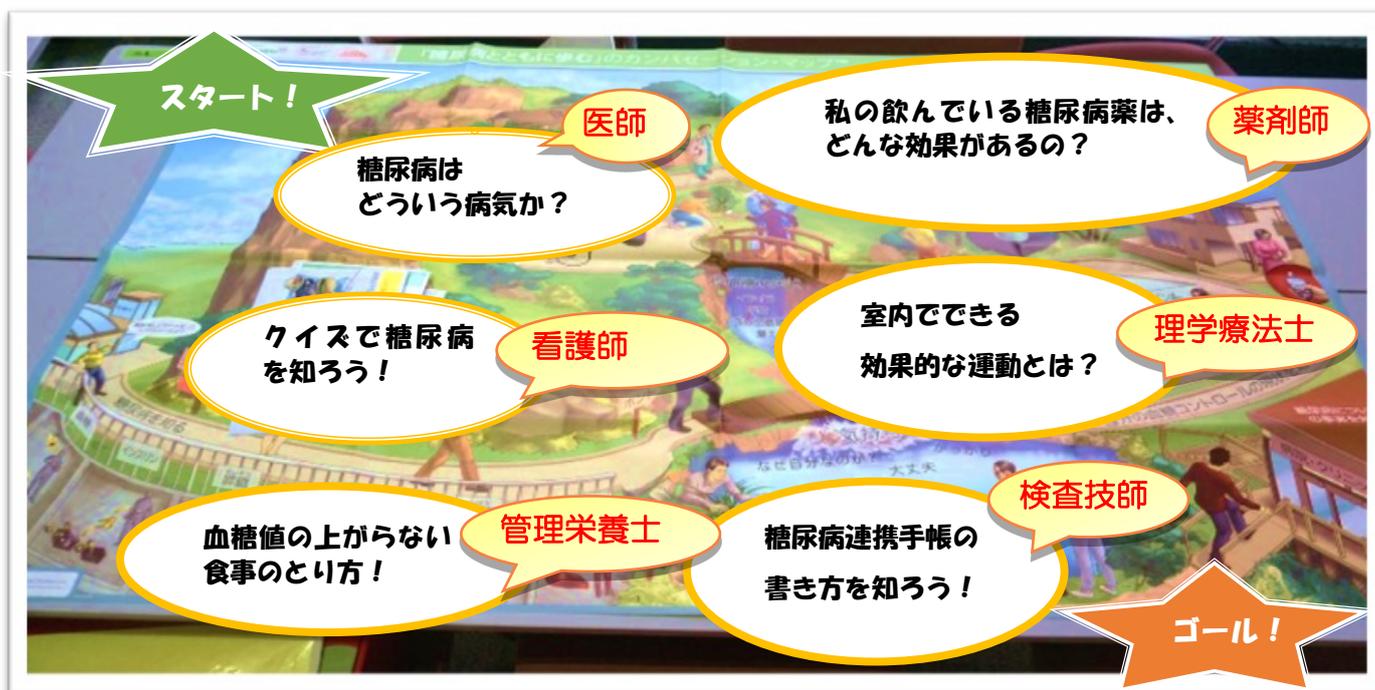
中央病院で開催している教室をご紹介します。今回は糖尿病教室と腎臓病教室の2つをご紹介します。現在は新型コロナウイルスの影響で中止しているものもありますが、この他にも様々な教室を開催していますので詳細はホームページをご確認ください。

糖尿病教室のご案内



毎日の生活の中で、高血糖が続くと、血管や神経が傷んで数々の糖尿病合併症を引き起こします。それを避けるためには、「糖尿病」を理解した上での「自己管理」が重要です。

当院の糖尿病教室では、糖尿病とはどういう病気なのか学ぶことができます。理由がわかれば、やる気も出ます。糖尿病教育部会のメンバー（医師・薬剤師・理学療法士・検査技師・管理栄養士・看護師）がチームで担当しています。



対象者：糖尿病と診断されている方ならどなたでも参加可能。ご家族の同伴も大歓迎。

開催日：第1又は第2木曜日

場所：新潟県立中央病院 2階 講堂2・3

時間：13時～15時10分

※現在、感染管理を徹底し、時間を30分短縮して開催しています。

参加費：集団栄養指導料（3割負担240円 R2.10月現在）

持ち物：糖尿病テキスト、糖尿病手帳、お薬手帳、食品交換表(売店で販売)

※糖尿病テキストは外来でお渡ししたもの(当院受診以外は当日配布します)

予約方法：・当院受診中の方は、主治医より糖尿病教室予約をしてください。

・上越地域の診療所（登録医）に受診中の方は、診療所から糖尿病教室参加申込書を当院地域連携センターにFAX(025-524-3232)してください。

問い合わせ先 新潟県立中央病院地域連携センター又は糖尿病看護認定看護師 武田 TEL025-522-7711(代表)

腎臓病教室のご案内

腎臓病教室は、慢性腎臓病の患者様とそのご家族を対象に、腎臓病と治療についての知識を深めていただくための教室です。年に3回、腎臓内科医・薬剤師・栄養士・看護師がお話させていただきます。

慢性腎臓病は、残念ながら完治させることができません。病気との付き合い方として『今以上に悪化させない！』ことが大切になります。そのためにはご自身の病気を知り、食事療法・内服治療・日常生活における自己管理がとても大切です。そして、ご家族のサポートも必要になりますので、ご本人だけでなくご家族の参加もお願いしています。私たちは、この腎臓病教室が、皆様にとって病気と向き合い、うまく付き合っていこうと思えるきっかけの場になることを願っています。

腎臓病教室では、質問もよく飛び交います。少人数で行うため、“ちょっと聞いてみたい事”にもお答えすることができます。ご自身のために、腎臓病教室に興味のある方、ぜひ受講されてみてはいかがでしょうか？詳細は、当院ホームページをご参照ください。受講を希望される方は当院内科外来にお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしております。



腎臓病教室 のなかれ



時間	内容	担当
13:00～13:20	受付	
13:30～14:00	腎臓の病気と治療について	医師
14:00～14:40	食事療法について	管理栄養士
14:40～14:50	休憩・補助食品の見学	
14:50～15:20	薬物療法について	薬剤師
15:20～15:40	透析療法について	透析室看護師
15:40～15:50	透析室見学(希望者)	透析室看護師

対象者：腎臓病と診断されている方ならどなたでも参加可能。ご家族の同伴も大歓迎。

開催日：10月22日(木) / 3月4日(木)

場所：新潟県立中央病院 2階 講堂1

時間：13時30分～15時50分 ※13時20分までにお越しください

参加費：集団栄養指導料(3割負担240円 R2.10月現在)

持ち物：①筆記用具 ②メモ帳 ※お茶等の飲み物はご自由にお持ちください

予約方法：内科外来までご連絡ください。

問い合わせ先 新潟県立中央病院内科外来 TEL025-522-7711(代表)

薬剤部のご紹介



薬剤部は現在、薬剤師23名と調剤助手3名で構成されています。病院薬剤師の仕事は多岐に渡るため、このメンバーがさらに各部署（調剤室・薬品管理室・製剤室・病棟薬剤師・医薬品情報室（DI室））に分かれ、協力して日々の薬剤業務に取り組んでいます。薬剤師はお薬の専門家として、患者さんの年齢や体重等の身体情報・検査値・お薬の飲み合わせ(相互作用)等の確認から、個々に適した処方薬・投与量・服用方法等の提案をおこない医師の処方支援となるよう努めています。

調剤室

内服薬（のみ薬）や外用薬（貼り薬、塗り薬、自己注射）等の調剤をおこなっています。また、術前中止薬お薬調べでは窓口にて患者さんの内服中のお薬やサプリメントを調べ、術前に注意が必要なものを確認しています。

薬品管理室

入院・外来患者さんの使用する注射薬の準備や、注射薬の配合変化の確認、院内で使われる医薬品の在庫管理等をおこなっています。

製剤室

抗がん剤・中心静脈栄養などの注射薬の無菌調製や、院内製剤（市販されていない薬品を製剤化したもの）の調製等をおこなっています。

病棟薬剤師

各病棟には1名ずつ病棟担当薬剤師がいます。入院患者さんの持参薬鑑別や、投薬状況の把握・検査値チェックから副作用モニタリングやお薬の有効性の確認等をおこなっています。また、入院患者さんのもとへ訪室しお薬の飲み方・使用方法・お薬や飲食物との飲み合わせ・注意事項等を説明しています。

医薬品情報室 (DI室)

お薬が適正に使用されるよう医薬品情報の収集や医療スタッフへの情報提供をおこなっています。

このほかにも、外来化学療法の指導や薬物血中濃度モニタリング（TDM）等の業務もおこなっています。私たちは患者さんに安心・安全で適切な薬物治療を受けていただけるよう努めてまいりますのでよろしくお願いたします。

お薬の事で気になる事があ
りましたら、お近くの薬剤師に
お声かけください！

